

項目		説明
試料・情報の利用目的及び利用方法	研究課題名	Osimertinib による薬剤性肺障害後の後治療の実態と EGFR-TKI re-challenge の安全性・有効性を調査する後方視的観察研究
	研究目的	オシメルチニブ(タグリッソ)による治療で間質性肺炎を発症した患者さんのその後の治療や経過の特徴、その後の抗癌薬の安全性や治療効果といった情報を検討することを目的としています。
	研究対象者	当センター呼吸器内科にて、2018年8月1日から2020年9月30日までの期間にオシメルチニブ(タグリッソ)を最初の治療として受け、間質性肺炎(ILD)を発症した患者さん
	研究期間	西暦 2021年7月12日～西暦 2023年3月31日
利用する試料・情報の項目 (チェック[X]が入った項目を利用します)		<input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> だ液 <input checked="" type="checkbox"/> 臨床検査データ <input type="checkbox"/> 病理組織 <input type="checkbox"/> 排泄物(尿・便) <input checked="" type="checkbox"/> その他(CT画像) <input type="checkbox"/> 毛髪 <input checked="" type="checkbox"/> 診療記録
試料・情報の管理について の責任者	当センター 研究責任者	呼吸器内科 牛尾 良太
試料・情報を 利用する者の 範囲	当センターでの実施診療科/部局等	呼吸器内科
	共同研究の場合、共同研究機関および各施設での研究責任者	研究責任者： 埼玉医科大学国際医療センター 呼吸器内科 今井 久雄 研究事務局： 静岡県立静岡がんセンター 呼吸器内科 西岡 直哉